



Q：花粉症の人に起こる口腔アレルギー症候群とは何ですか。

A：花粉症の人が新鮮な果物、生野菜、ナッツ類などを食べた時に、15分以内くらいで口の中や唇の粘膜の腫れやかゆみ、しびれ感などを生じ、さらに顔のむくみや喉の詰まる感じ、じんま疹、腹痛、嘔吐、下痢などを生じることがあります。またラテックスゴムにかぶれることもあります。このような病態を口腔アレルギー症候群と呼んでいます。花粉症を引き起こす原因となるアレルギー、特にシラカバ花粉などに含まれるアレルギーの構造と、果物や野菜

などの食物に含まれるたんぱく質（アレルギー）の構造が似ているために、交差反応を起こすのが原因です。年長児や成人では花粉症を起こした後に口腔アレルギー症候群を起こす場合が多いと言われています。リンゴ、モモ、ナシ、サクランボ、イチゴなどバラ科の果物、スイカ、メロンなどウリ科の植物、野菜ではセ



ロリ、ニンジン、トマトなど、ナッツ類ではアーモンド、ピーナッツ、クルミ、ココナッツなどが症状を引き起こしやすいようです。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801